神奈川県
保険医新聞
発行所　神奈川県保険医協会　〒221-0835　横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2（TSプラザビルディング2階）
電話045-313-2111（代表）　FAX045-313-2113　横浜中央郵便局私書箱第319号
購読料　一部300円（会員の購読料は会費に含まれています）　発行人　田中麻衣子

歯科医院の廃業等が過去最多

診療報酬の期中改定は必須

人件費上昇・物価高騰に追い付かず

「経営の安定や現場で働く幅広い職種の方々の賃上げを確実に進めることが重要」――。上野厚労大臣は10月21日、今国会初の衆院厚労委員会で医療・介護・障害福祉分野についてこう語った。この間の物価高・人件費上昇に中東情勢の悪化が追い打ちとなり、医療機関経営はさらに厳しくなっている。このような中、当協会は診療報酬の期中改定実現を求めている。

2026年度診療報酬の改定率は本体3・09％だが、これは26年度に2・41％、27年度に3・77％を行うという二段階の改定となる。

それに加えて「骨太の方針2026」を踏まえ、経済・物価の動向が26年度診療報酬改定時の見通しから大きく変動し、医療機関等の経営状況に支障が生じた場合、27年度の予算編成過程で「診療報酬上の加減算を含む必要な調整」が行われる。

このような中、自民党厚労部会長に就任した仁木博文議員は27年度診療報酬改定の本体改定率3・77％に「プラス」を求める姿勢を示している。「あくまで見立て」と断りつつも、医療材料はナフサを材料とするものが多いことから「医療の物品は確実に上がっている」と主張。昨年末に決めた改定率は、中東情勢の悪化を見込んでいないとした。

実際に医療機関の閉院は増えている。帝国データバンクが公表した倒産・休廃業解散動向によると、今年1月～9月の歯科医院の休廃業・解散・倒産は計143件で、同期間で過去最多。過去最多だった昨年を大きく上回るペースで推移しているという。競争激化による利益の圧迫や人件費、歯科材料費の高騰に加え、院長の高齢化や後継者不足に伴う廃業の傾向もみられる。

また、同社の全国企業倒産集計によると、医療機関の倒産は今年1月～9月までで60件に達した※。これは過去最多だった昨年の同時期と比べても12件多い件数。同社は上半期の分析レポートで「小規模な診療所の倒産が全体の件数を押し上げている」としている。

「昨年より減益」が6割超

全国医学部長病院長会議、国立大学病院長会議、日本私立医科大学協会の3団体は10月16日、初の合同会見を開いた。26年度の大学病院の経営状況について、医業収益は前年比8％増で、医業費用は6％増との限定的な試算を示したほか、利益が出るか「予断を許さない状況」と言及。老朽化した施設等に投資する余力はないとした。

翌週20日には日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会が今年の改定直後の6月を対象とした、病院経営定期調査の中間報告を発表。収益の伸びが費用を上回り赤字額が縮小し、赤字病院の割合は72・1％から55・4％に減ったものの、半数超は赤字の状況が続いているとした。

さらに保団連は10月22日、診療報酬の期中改定の実施を求める要請書を厚労省へ提出。今年8月の経常収支が昨年8月に比べて減益になったと回答した医療機関は64％と半数を超えた。増益は15％、変化なしは14％だった。

10月26日に開かれた厚労省の検討会「医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会」では、医療職の有資格者を対象とした勤務環境調査の速報値が公表された。職種継続のためには8割弱が「給与・処遇の改善」を挙げ、資格取得が「処遇に反映されていない」との回答は6割を超えた。委員からは小規模施設も含めた実効性のある支援を求める声が相次いだ。

医療機関は大幅かつ早急な財政措置を必要としている。

※法的整理かつ負債額1千万円以上の事業者。

当会が利用するメール配信サービスへの不正アクセスに伴う個人情報漏えいの可能性について

このたび、当会がメールマガジンの配信業務に利用している株式会社ラクスライトクラウド提供の外部サービス「ブラストメール（blastmail）」において、第三者による不正アクセスが発生し、同社サーバー内に保管されていた一部データが外部へ持ち出されたことが判明いたしました。

これに伴い、当会が同サービスを利用してメールマガジンをお送りしていた会員の個人情報（▽会員氏名、▽会員番号、▽会員医療機関名、▽メールアドレス）が、外部へ漏えいした可能性があることが確認されました。

メールマガジンをご利用の会員の先生方には、多大なるご心配とご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

漏えいした可能性のあるメールアドレス宛に、当会や関係団体、関係企業、金融機関などを装った不審なメール（フィッシングメール）が送信される懸念がございますので、ご注意いただきますようお願い申し上げます。

10月29日現在、株式会社ラクスライトクラウドによる内部調査は完了し、会員の個人情報が漏洩したとの連絡は寄せられていません。同社は専門機関による外部調査を実施しています。

本件に関しまして、公表すべき新たな事実が判明した場合には、当会ホームページ等を通じて速やかにお知らせいたします。

文化部の保土ケ谷宿散策
―県内で発見の連続―

文化部長　濱名　哲郎

＊今号は「文化号」です。3面と4面に「習い事の思い出」と「おすすめツーリングスポット」を掲載しています。ぜひお読みください。以下、濱名文化部長より昨年10月に開催した「保土ケ谷宿ハイキング」についてご寄稿いただきました。今後の文化行事につきましても、ぜひご参加ください（関連・2面「主張」）。

◇

朝9時半に、相鉄線天王町駅前公園での集合から始まった。この近くの橘樹神社は、源頼朝の天下平定を祝った神社だ。京都の八坂神社に由来する創建と成る。前半では、YBP（横浜ビジネスパーク）でトイレ休憩させていただいた。ここはビジネスビルの先駆けで1990（平成2）年頃に完成と、現在36年も経っていた。後半11時頃訪ねたJR保土ケ谷駅近くにある金沢横丁道標では、「かなさわ、かまくらへの道標」と「弘明寺道」そして「梅の名所杉田への道」等の道標が並んでいる。江戸時代の人々が往来したことと、梅の名所を知ることができた。弘明寺は、保土ケ谷から井土ケ谷を抜けて行く。東海道（国道1号線）に面した本陣跡を訪ねて、その後にJR踏切を渡った山側の大仙寺に行った。

この寺は本陣を務めた軽部家の菩提寺と成り、保土ケ谷区内で最も古い寺の一つ。ここ保土ケ谷の東海道は、箱根駅伝2区の権太坂に通じている。当日頂いたリーフレットによると、現在の道より広く「富嶽三十六景 東海道程ヶ谷」では松並木も描かれている。

ハイキング終了後には、ガイドの方のお知り合いである蕎麦屋で休憩した（江戸時代の旅人のように）。このハイキングの後で横浜の協会に行く時に、この保土ケ谷踏切のカーブを電車で通過する。この場所は何故か、私には特別な場所と相成った。協会文化部の企画に、会員の先生方は院内スタッフの方々と、ぜひご参加してはいかがでしょうか。

【文化行事のお知らせ】

＊みんなの料理教室
11月28日（土）15時～

＊戸塚宿ハイキング
11月29日（日）9時15分～

今号は文化号です


保土ケ谷宿ハイキング


ワイン利き酒会


己書教室

杏林往来

今年の夏休みに家族で韓国に旅行に行った。ソウルはだいぶ前に行ったことがあるが、釜山は初めての訪問である。そこは高層ビルが建ち並び、機能的で広い地下街のある洗練された街並みに、所々朝鮮戦争初期に形作られた闇市跡の混沌とした部分が混ざりあう多様性に溢れる都市だった。また食事は海産物をふんだんに使い、日本人に合う味付けの美味しい料理が印象的だった。英語圏ほどは円安による物価高を感じず、食事や買い物を楽しんだ▼韓国語は「こんにちは」や「ありがとう」しか話せず、ホテル職員や店員とは日本語でも韓国語でもなく、片言の英語で意思疎通を図った。隣国でかつ肌の色も顔つきも似ているのにコミュニケーションに英語を使うことに、文化的な距離を感じるとともになにか物足りない気持ちになった。街を歩くと、日本統治下の負の歴史や、北との緊張を抱えながらも経済発展を遂げるこの国の力強さを感じる。地政学的リスクを抱える中で成長を続ける様子には、我が国が学ぶべき点が沢山あると思う▼来年も再び釜山を訪れる予定だ。今度はもう少しハングルを学び、街の中のハングル表記を読み解くとともに、翻訳アプリの助けを借りながらも、挨拶や簡単な会話を交わせるようになりたい。地域の人々とのコミュニケーションを増やし、韓国という隣国を肌で感じていきたい。（関）

神奈川県保険医協会会員数（10月29日現在）6,545名（医科：3,977名、歯科：2,568名）

「ゼロの会」オンラインイベント直前
スペシャル対談

「窓口負担ゼロ」は夢物語か

厚生省の内側と海外の現場を見てきた尾藤廣喜弁護士に聞く

医療費の窓口負担解消を目指す「ゼロの会」は11月23日（月・祝）に神奈川をはじめ千葉、大阪医科・歯科、兵庫各協会との合同で、恒例のオンラインイベント（左図）を開催する。イベントを直前に控え、基調講演の演者・尾藤廣喜（びとうひろき）弁護士とのスペシャル対談が実現した。イベントテーマは、「みんなで語ろう窓口負担ゼロ～いのちは平等！誰もがかかれる医療へ～」。

基調講演を行うのは、元厚生省職員で弁護士の尾藤廣喜氏。厚生省保険局企画課で医療保険制度の議論に携わり、その後約50年にわたって、弁護士として生活保護や社会保障の問題に取り組んできた。イベントを前に、「そもそも窓口負担とは何なのか」を聞いた。

◇

【編集部】今回のテーマは、ずばり「窓口負担ゼロ」という大胆なテーマです。

【尾藤弁護士（以下、尾藤）】まず、「医療保険とは何のための制度なのか」を考える必要があります。日本では戦後、社会保障制度をつくる際、公費を中心とする仕組みではなく、社会保険を中心にする道を選びました。

ただ、保険制度を選んだから患者負担があって当然、給付が低くてもよい、ということにはならないと思います。必要な医療をどう保障するのか。健康権や生存権というところまで立ち返って考える必要があります。

【編集部】先生は厚生省で、医療保険制度そのものを議論する側にいたわけですね。

【尾藤】保険局企画課で、当時「医療保険制度の抜本改正」と呼ばれていた議論に関わりました。社会保険審議会の事務局で資料を作る仕事などもしていました。当時、隣の課の課長だったのが、後に「医療費亡国論」で知られる吉村仁さんです。私のような入ったばかりの職員にもよく話しかける人でした。医療費が増え続ければ国が大変なことになる、という問題意識を非常に強く持っていました。その考え方が、その後の日本の医療政策にどんな影響を与えたのか。今の患者負担をめぐる議論を考える上でも、振り返る意味があると思っています。

【編集部】最近の高額療養費の負担増や、一部の薬を保険から外す議論はどう見ていますか。

【尾藤】私は、日本の国民皆保険は世界に誇れる制度だと思っています。私的保険に頼らなくても、社会保険で必要な医療を保障することが、その強みです。

ところが、薬を保険から外したり、高額療養費の自己負担を高めたりすれば、その原理原則が少しずつ崩れていく。個別の負担額だけでなく、「日本の医療をどこへ向かわせるのか」という大きな問題として考える必要があります。負担増の是非だけを切り取って考える問題ではありません。

【編集部】いまも「患者負担を増やせば受診が減り、医療費を抑えられる」という考え方があります。

【尾藤】しかし、窓口負担を増やして受診機会を減らせば、その影響を強く受けるのは、所得の少ない人や、医療を必要とする機会の多い人です。それで国民全体の健康が良くなるのか、という問題があります。

このことを強烈に感じたのが、日弁連の調査で訪れたイタリアでした。

【編集部】財政難の中でも、窓口負担のない医療を続けていた国ですね。

【尾藤】そうです。当時のイタリアは財政赤字が大きな問題になっていました。それでもなぜ医療を無償にしているのか。その考え方、哲学を知りたいと思って訪問しました。

そこで会った行政の責任者が、非常に印象的な人でした。もともと医師で、患者を診てきた経験を持つ方です。「患者負担を増やせば医療費を減らせるのではないか」という日本でもよく聞く疑問を私もぶつけました。

返ってきた答えは、私にとって非常に示唆的でした。

【編集部】どんな答えだったのでしょうか。

【尾藤】そこはぜひ当日、お話ししたいですね(笑)。ただ一つ言えば、「誰が医療から遠ざかるのか」を考えなければならない、ということです。単に医療費の数字を減らせばよいのか。それとも、必要な人が必要なときに受診できることを出発点に制度を考えるのか。大きな違いがあります。

【編集部】では、日本で本当に窓口負担ゼロを目指すことはできるのでしょうか。

【尾藤】最初から「できない」と決める必要はないと思います。子どもの医療費無料化を見てください。いまでは、無料化を掲げなければ政治家も票が入らない、というところまで来ています。かつては老人医療無料化が政治を動かしたこともありました。

大事なのは、「ゼロにすると社会にどんないいことが起きるのか」をもっと示していくことです。誰もが早く受診できることが国民の健康を守り、社会そのものを強くする。その価値をもっと伝える必要があります。

【編集部】負担増への反対だけではない、ということですね。

【尾藤】そうです。負担が増えている、大変だ、という悲観的な話だけで終わりたくありません。「こういう展望を持って取り組めるのではないか」というところまで話したいと思っています。

日本には国民皆保険という大切な財産があります。それをこれからどう育てるのか。窓口負担ゼロという問題を入り口に、皆さんと一緒に考えたいですね。

【編集部】左記QRコードから、オンラインイベントにぜひご参加ください。



11月23日（月・祝）
オンラインイベント開催！！


尾藤弁護士

主張

文化部活動のご紹介
会員、ご家族、スタッフの皆様ご参加を

保険医協会の文化部活動は、会員の先生方のリフレッシュだけでなく、スタッフ及びご家族の楽しみを考えて、いろいろな企画を検討している。この1年では、10月に保土ケ谷宿ハイキング、11月にアジ釣り大会、11月・12月にランニング同好会、6月・12月にみんなの料理教室、本年5月に己書教室、写真教室、そして7月にワイン利き酒会を開催した。

ハイキングは旧東海道の保土ケ谷宿を保土ケ谷ガイドの会の方とともに約3時間歩き、町中に残る歴史の痕跡をたどった。見過ごされがちな所にも名跡があるなど、新たな発見があった。今年は戸塚宿を予定している。

己書教室では、自分だけの書（己書）の基本的な書き方を学び、筆ペンを使って自由に絵のような味のある文字を書いた。会員ら16名が参加した。以前から開催している写真教室はプロ写真家（榊原氏）の講評もあり、参加された会員に好評である。

ランニング同好会は練習会や駅伝大会（多摩川リレーマラソン、川崎国際駅伝）に参加しており、参加者の親睦を深めている。新たな参加者も募集している。

みんなの料理教室をこの1年で2回開催し、料理研究家（細見涼子氏）を講師に招き、会員ご夫婦を含め13名、ならびに16名の参加があり、イタリアの家庭料理を作り、楽しいひとときを過ごした。釣り大会には、22名が参加。逗子小坪漁港より当日悪天候の中出航したが、船長の晴れてくるとの言葉通り天気は良くなった。目標としていたアジではなくサバが大量に釣れ、参加された会員の初心者、親子連れも満足された。

ワイン利き酒会は横浜元町の霧笛楼で行った。参加人数は40名で、日本ワインソムリエ協会前副会長（現監事）である横浜君嶋屋の君嶋哲至氏が厳選したワイン8種を料理に合わせて味わった。来年は日本酒利き酒会を予定しているが、すぐに予定人数になることが予想されるため、早めのお申込みをおすすめしたい。

今後はコロナ禍以前に行っていたバスツアーも復活予定で、現在、鋭意企画中である。人気の企画は希望者が多いため、こちらも早めのお申込みをお願いしたい。

これからも文化部は会員の先生、ご家族、スタッフの皆様に楽しんでいただけるように様々な企画を用意している。こぞってご参加いただきたい。

歯科のコーナー

「歯科点数・解説動画」を公開しました！

歯科保険診療対策部は、診療報酬について質問が多い項目（歯科点数）等について点数ごとに解説動画を作成し、協会ホームページの「会員ページ」に公開いたしました。現在、「新製有床義歯管理料」、「画像診断」、「口腔機能実地指導料」、「歯科技工所ベースアップ支援料」に関する計4本の動画が視聴可能です。本動画はオンデマンド配信ですので、視聴したい時に何度も繰り返し視聴していただけます。今後も解説動画を随時アップしていく予定です。内容等についてご不明な点がございましたら、歯科保険診療対策部（ ℡ 045-313-2111）までお気軽にお問合せください。

解説動画はこちら

書籍「歯科保険診療の研究 2026年6月版」
正誤表のご案内

歯科会員に1冊無料で送付しております書籍「歯科保険診療の研究2026年6月版」の正誤表（10月16日版）をご案内します。**左下二次元コード**よりご確認ください。また、協会で取り扱っております書籍につきましては、協会ホームページ内「発行物のご案内」のページ（**右下二次元コード**）をご覧いただけますと幸いです。歯科・保険診療に関する書籍についてのお問合せは、歯科保険診療対策部（ ℡ 045-313-2111）までお願いします。

正誤表

発行物(書籍)のご案内

「習い事の思い出」

会員の先生方からたくさんの思い出話が寄せられました。

しの笛

藤沢市　**北村　隆行**



藤沢市に歯科診療所を開院して40年ほどになる。自宅は鎌倉市である。学生時代に平家物語に親しんだ為か京都への関心が強くなりいずれ京都に住もうと思うようになったが果たせないままであった。8年ほど前に機会を得て僅か4ヶ月ではあるが京都住まいした。

その間観光や学会ではできにくい経験をすることができ充実した日々であった。診療所は勤務医の先生にお願いし私は週に1日だけ新幹線で藤沢へ通い日帰りの診療を行った。せっかくの機会であるので京都で習い事をしようと思いいくつか考えてみたが本格的に入門しても期間に限りがあるため文化センターなどをさがしてNHKカルチャーセンターにしの笛教室を見つけた。さっそく見学したところ良さそうに思われたので参加した。私は邦楽は好きとはいっても稽古は長唄の稽古で初めての経験であった。講師は私より十歳ほど若い女性の方であったが予想に反して言葉遣い等から関西の方ではなく東京近辺の出身の方と思われた。数回参加するうちに神奈川へ戻る時が来た。週に1回神奈川まで診療に通えるのであるから逆に京都へ稽古に通うことはできると考えていたが多忙な診療の日々に戻ってみるとそれは難しかった。止むを得ず教室宛に手紙でその旨を伝えるとすぐに先生からの返信をいただいた。するとなんと先生のお住まいは私と同じ鎌倉であり京都まで稽古をつけに通われていたのであった。なんという偶然かと思い鎌倉で稽古を続けることに心を決め今日に至っている。不思議な縁によって良き師に指導をうけることとなって8年、音感が悪くリズム感もない私も少しはしの笛が上達し長唄の世界を楽しめるようになった（と自分で勝手に思っている）。

イタリア語



24年前、都内勤務医でローランド外国語会話スクール（現在はランングランド）新宿校（今は渋谷校しかありません）にて伊語のグループレッスンに1年半通っていました。当時、ピザやパスタやティラミス、ジェラート等のイタリア料理が流行っていたり、三浦知良選手や中田英寿選手がセリエAで活躍していた事や映画「冷静と情熱のあいだ」を観たのをきっかけに伊語を習いました。







異業種の方と色々話したり、講師が私と同じ地区に住んでいたこともあり、とても楽しかったです。レッスン終了後に高島屋新宿店のジェラート店（今はない）で色々なジェラートを食べたり、講師おすすめのピザ屋に行ったのも懐かしい思い出です。勤務医を退職してJTBのパリ、フィレンツェ、ベネチア、ローマのツアーに参加したのですが、何と添乗員さんも私の通っていた同スクール新宿校出身で、担当講師も私と同じだったことがわかり、人生初の海外旅行は色々と楽しめました。

ローマから帰国して半年または1年後位に私の同期と会って同スクール新宿校に通っていたと話したところ、彼は同スクール渋谷校で広東語を習っていました。

世の中って狭いなあと思いました。

（匿名希望）

習字、そろばん、オーボエ…





小学校のとき習字とそろばん塾に通い、家業を継ぐことを期待されました。

中学生のときトランペットに憧れ、高校時代ビートルズを聴き、ジャズ喫茶通い。

50代からヴォーカルを、次いでチェンバロを習い、70代になりオーボエを始めました。

リードや楽器の手入れに手間取りますが、人の声に近い音色が魅力です。　（匿名希望）

社交ダンス

横須賀市　**中島　茂**



私は大学時代から社交ダンスを習いはじめ、競技会等に出場し全日本でもアマチュアではベスト10にも入るようになりました。ダンスのパートナーと結婚し順風なようでしたが、ダンスには喧嘩がつきもので、一度大喧嘩して日本武道館で全日本大会があった時に私は観覧席から見学していたのですが、10年後に他人より奥さん一人で控え室でドレスに着がえて私を待っていたことがわかり、それから私は懺悔の毎日を過ごしています。

前畑秀子スイミングスクール



横須賀市　**奥井　伸雄**

「前畑がんばれ」の実況で知られ、昭和十一年のベルリン五輪で日本人女性初の金メダリストとなった前畑秀子先生。私は三歳から十二歳まで、先生のスイミングスクールに通いました。

練習が厳しくても、水泳を嫌いになったことは一度もありません。余分な力を使わず、正しいフォームで泳ぐことを幼い頃に身につけたため、大人になっても水に入れば自然に身体が動きました。同じチームの仲間からは、後にオリンピック選手やプロ野球のエースも生まれました。水泳に限らず、一人ひとりの異なる才能を見つけ、伸ばしてくださったのが前畑先生でした。私が先生から授かったものは、ゴールまで挫けない精神です。

二十歳のとき、私は右脚に大けがを負い、日常生活でも装具を手放せなくなりました。それでも水泳という土台があったおかげで、四十歳からトライアスロンに取り組み、六十歳で引退するまでに、アイアンマンを十二回完走できました。

レースでは、最初のスイムで焦ることはありません。力を抜き、正しいフォームで、長い一日のウォーミングアップをするように泳ぎます。それでも上位でスイムを終えられたため、続くバイクとランには余裕を持って臨めました。

現在、その教えは論文研究に生きています。投稿した論文が何度不採択になっても、そこで挫けることなく、修正して次へ進む。前畑先生から教わった「ゴールまで諦めない心」は、今も研究者としての私を支え続けています。

カメラ



川崎市麻生区　**小関　新**

私が習い事として選んだのは「カメラで写真を撮ること」でした。

高齢になっても続けられそうで、すぐ上達するだろうと考えたからです。思い切って高価なカメラを購入し、逆光を美しく撮りたくて先生に教えを請い、本も買い込み、スピード・絞り・感度・ISO・露出などを熱心に学びました。個人教授にも通い、批評会にも参加しました。

しかし、続けるうちにいくつかの現実的な壁に気づきました。

まず、100万円を超えるカメラが当たり前の世界であること。

さらに、写真を撮る姿勢は、しゃがむ・立つ・よじ登る・腹ばいになるなど、高齢者には負担が大きいこと。転倒の危険もありました。そして一番は、肖像権の壁です。

さらに、高性能なスマートフォンの出現が写真の世界を変えました。

写真はスマートフォンによって、撮っては消えていく「消耗品」のようになりました。スマートフォンなら、気軽に高画質の写真を撮ることができます。シャッターチャンスを逃さず、すぐに撮影できるのも大きな利点です。

一方、本格的なカメラでは、まず取り出し、構え、焦点を合わせ、露出を考えるなど、いくつもの工程があります。

そして私には、普通の写真と芸術写真の区別もよく分かりません。何がスナップ写真で、何が芸術写真なのか。写真を習ってみても、その違いは最後までよく分かりませんでした。写真の芸術性とは何なのか。それは最後まで分かりませんでした。

写真は老人に向く趣味なのかと聞かれれば、少なくとも私にとっては、本格的なカメラを持って歩き回るより、スマートフォンで十分でした。

天気が良ければまだよいが、みじめなのは雨降りの寒い日である。新に火がつかない。食事ができない。寒い中空腹で、泥だらけになって帰宅するとき、普段の生活がどれほど恵まれているか、理屈ではなく認識した。

屋外で遊ばなかった私は、この経験により、体を動かすと空腹になる、空腹になると食事はなんでもうまい、ということを初めて体験した。以来、家庭でも偏食が一切なくなっただけでなく、雨露が凌げる家屋や、ゆっくり眠れる大切さを深く知ったのである。

ボーイスカウトの思い出



座間市　**鴇田　尚樹**

私は幼少時全く屋外で遊ばない子供であった。小学校四年頃両親から私の意志と無関係にボーイスカウトに入れられた。

小学校三年から五年までをカブスカウトというこれは楽だった。週一回公民館に集まり、遊んだり、募金をしたり、河原でゴミ拾いをしたりした。その時点では多くの同期生がいたと思う。

ところが、小学校六年から中学生の間はボーイスカウトと言い、桁違いに厳しくなるのだ。同期生はバタバタと辞めていった。毎月一度は公園や河原でキャンプをしていた。真冬でも、真夏でも同様である。当時テントは重い幌であるし、インスタント食品は一切用いず、竈を掘って薪を拾い集め、自炊していた。水の確保が重要で、ポリタンクで遠くから汲んで来なくてはならない。小学生の私は泣きながら引きずって運んだ。それが成長に連れて楽に持ち運ぶことができるようになった。上級者から、普段の移動は全て走れと言われる。自由時間は一切なく、夕方になると自宅が恋しかった。真冬にグランドシートの上に寝袋だけで寝ていると、地面の硬さ、冷たさが身に堪える。朝になると地面に接する体の部分がしびれていた。

突然夜中に非常呼集がかけられ、屋外に出た。月が出ている時は懐中電灯が要らない位明るいということも知った。

おすすめツーリングスポット

＊協会ホームページには、写真をカラーで掲載しています。ぜひご覧ください。

通勤路の「鏡」

横浜市港北区　**東　浩介**



自宅のある田奈・長津田・恩田から、新吉田の医院まで片道15㎞。恩田川、鶴見川沿いを自転車で走ります。

水田は、空を写します。雲も光も、もう一つの空となって足元に広がる。そんなとき、40分の通勤が少しだけ旅になります。

（恩田川～鶴見川サイクリングロード）







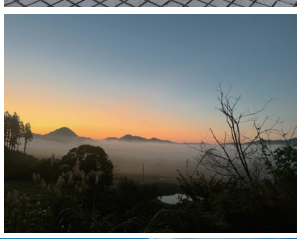
奥多摩周遊道路

川崎市中原区　**濱　夏樹**

緑が輝いて奥多摩湖も美しいです。









大野山山頂

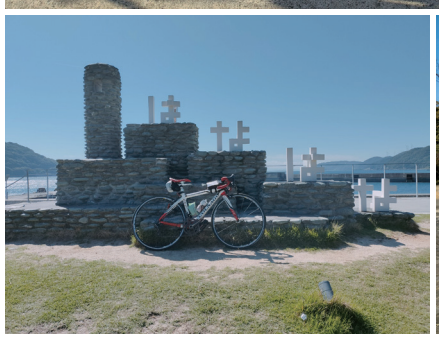
厚木市　**徳武　巌**

①大野山山頂

神奈川県足柄上郡山北町皆瀬川258。上写真は山頂駐車場から相模湾方面を撮りました。天気が良ければ、山頂から富士山もきれいに見えるようですが、その日はあいにく見えず。しょぼい写真で申し訳ありません。R246山北町安戸交差点から北上します。道は狭くコーナーもタイトなところが多いです。ビッグバイクでは走りにくいかも。

②神奈川県　県道731　はこね金太郎ライン

南足柄と箱根を結ぶ峠越えのルート。きれいに舗装されて快適です（2年前）。自転車で走る方も多いです。峠付近に金時見晴パーキングがあり、休憩できます（トイレ無し）。箱根仙石原から南足柄への抜け道としても使えそうです。ごめんなさい、写真はありません。







①Hawaii
②神奈川県　横須賀市
③福島県　猪苗代湖
④愛媛県　佐多岬
⑤兵庫県　姫路城
⑥福井県　福井駅

藤沢市　**青木　香菜**

JR東日本 駅ナカ オンライン診療について

大和市　小柳　光仁

今春に法制化され、社会に登場した「オンライン診療受診施設」。５月にはJR東日本が首都圏等の一部の駅でオンライン診療受診施設を用いたサービス「LX Doctor」を始めた。「LX Doctor」は生活動線上にあるエキナカ（駅ナカ）の個室ブースで、オンライン診療を受診できるサービスだ。

オンライン診療受診施設は「ハコものサービス」であり、医療機関ではないものの、医師が不在なだけでオンライン診療の画面で医師と患者をつなぎ、「D to P with N（医師-患者・看護師等）」の形で、特定多数の人へ医療を行える「医療提供施設」。看護師が医師の指示で注射、検査、処置ができ、超音波などの医療機器も設置が可能。しかも、この受診施設は営利企業が届出で設置でき、ハードルがとても低い。患者にとってみれば「WEBクリニック」、「準医療機関」と見える。



このたび、駅ナカオンライン診療受診施設の問題性について、小柳理事から投稿いただいたので掲載する。

◇

東京都内14駅でオンライン診療（以下オン診）ブースが設置され5月20日から利用開始という話題性のある記事をみて考えました。

医療は対面で行うのが本筋で、それができない医療過疎地域で通院困難の場合、補助にオン診があり、それが本来の姿で医療格差の是正に役立つと考えます。交通の便が良い都内の駅ナカにオン診を組むことは、首都圏の利便性の追及です。東京保険医協会の月刊誌『診療研究2026年8月号』にオン診受診施設の問題点と医療機関に与える影響（高橋太氏著）の論文を読み考えてみました。駅ナカオン診は、設置の届出であり開設の「許可」でない。医師の指示のもとナースの手でいわゆる「D to P with N（医師―患者・看護師等）」により注射や検査処置を可能となる事が論文からわかりました。

JR東日本マーケティング戦略部のマネージャーによると「医療格差の解消のためにオン診をもっと活用について、内閣府等が規制改革推進会議で扱ってくださった」と医師向け情報サイトm3・comにありました。論文より6月29日に規制改革推進会議（議長：JR東日本相談役）は規制改革推進に関する答申をまとめ、オン診施設「D to P with N」の形で一定の診療補助行為が実施可能であることを明確化するように求めたと記載がありました。法制化の過程で医師会を含め医療従事者と議論する場が存在したか疑問が残ります。

場所を医療従事者でなく誰でも設置が可能で不適切な医業が発生しても、責任は提携医療機関と判明。注射や採血尿検査、心電図などがナースにより行われ保険点数まである。処方箋も発行され、結果現実に一つのビジネスモデルです。

医療の非営利性の点から株式会社は医療に参入できないはずが、矛盾です。厚労省ならびに政府には医療機関でない場所のみを提供するオン診施設につき安全性と非営利性と問題が起きた時の責任を担保していただきたい。

＊原稿内で触れられた論文「オンライン診療受診施設の問題点と医療機関に与える影響」は協会HP（ホームページ）からお読みいただけます（左記QRコード）。

ポール・セザンヌと境界性人格障害

医科学から読み解く西洋画家の物語 ～第九回～

川崎市川崎区　谷本　哲也

近代絵画の父の孤独で攻撃的な人格の謎。115回のポーズをモデルに要求した異常な完璧主義と、現代精神医学が明かす感情調節の困難さとは―（毎月1回連載）。



ポール・セザンヌ『りんごとオレンジ』1899年、オルセー美術館（事務局撮影）

ポール・セザンヌ（1839―1906）は、「一個のリンゴでパリを驚かせたい」と語ったように、絵画の根本的な構造を変革した孤高の芸術家である。ピカソとマティスは「セザンヌは我々すべての父である」と称え、彼の作風は印象派を超え、近代絵画への道を切り開いた。

印象派が光と瞬間を追い求めたのに対し、セザンヌは自然を円筒・球・円錐といった幾何学的構造として捉え、色彩の対比によって立体感と秩序を生み出した。その探求は単なる技巧ではなく、現実を構築する新しい知覚の提案であった。

彼の人生は、芸術への情熱と精神的な不安定さの間で揺れ続けた。銀行家として成功した父親は芸術を理解せず、セザンヌは経済的に依存しながらも精神的には抑圧され続けた。恋人オルタンスとの関係も6年間隠さねばならず、家族にも認められない孤独の中で制作に没頭した。内向的で頑固な性格、極度の人見知りゆえに女性ヌードモデルを雇うこともできず、想像で描いた裸体画はその象徴である。画商ヴォラールに115回もポーズを取らせながら絵を完成させられず、妻を20年間で25回も描いたという逸話は、彼の完璧主義と執着を示す。

セザンヌの言葉「画家には目と脳という二つの基本的部分がある。両者は互いに助け合わなければならない」は、視覚と認知の協働という、現代神経科学にも通じる洞察を示している。

1890年に糖尿病を発症し、網膜症により色彩感覚が変化したといわれる。近視でありながら眼鏡を拒んだため、近景は鮮明に、遠景はぼやけて描かれる独特の空間構成が生まれた。

精神医学的に見れば、彼の情緒の不安定さや被害妄想的な反応は境界性人格障害の特徴と重なる。1895年、モネが開いた感謝の集いで、セザンヌは突然「君も僕を笑っているのか！」と怒鳴り立ち去った。感謝の言葉さえ侮辱に感じる過敏さと不信感、そして自尊心の揺らぎは、まさにこの障害の特徴といえる。人間関係の不安定さと強迫的な完璧主義、対人恐怖からの逃避――それらが彼を静物画へと向かわせた。

しかし、この精神的な不安定さこそが、彼の芸術を生んだ原動力であった。感情の激しさと認知の歪みが、従来の絵画の秩序を打ち壊し、新たな時代を創造したのである。嵐の中でも筆を取り続け、肺炎に倒れるその瞬間まで、彼は自らの内なる混沌をキャンバスに昇華し続けた。セザンヌの孤独と狂気は、破壊ではなく再生の力となり、近代絵画という新しい時代の扉を少しずつ、しかし確実に開いたのだ。

◇

会員からの投稿や連載希望、お待ちしております。投稿の文字数は800字程度。ご不明点は新聞部まで（TEL 045-313-2111）。

立ち止まって振り返る

横浜市金沢区　若栗　直子



私の履歴書 ～第116弾～

1964年1月29日横浜市金沢区から私の人生が始まりました。東京オリンピックの開催や東海道新幹線の開業など高度経済成長期を象徴する出来事があった年でした。両親は歯科を開業しており2歳離れた弟が現在歯科を引き継いでいます。小学校低学年まではおとなしい子でしたが、小学4年くらいから自分の意見を持てるようにならなくてはいけないと目覚め、徐々に活発になっていきます。スキー・水泳・ボール競技が大好きで一年中日に焼けており、黒豚とあだ名がつくくらいでした。幼稚園から高校までカトリックの教育を受け、信者にはならずともその教えが物事を考える上での基盤となっているように感じます。両親の反対を押し切り、医師の仕事への道を選択。苦手な数学Ⅲが受験科目にない帝京大学を見つけ受験。その後も同大学病院の第二外科に入局し、教授や医局の先生方の協力ご理解のもと、妊娠出産を経て現在のクリニック開院に至ります。自分の人生を振り返ると親への感謝の気持ちが込み上げてきます。特に大黒柱だった母とはよく衝突していました。あなたもお母さんの年になったらわかるとよく言われ反抗の気持ちを逆撫でるようなことを言われましたが、最後は私の味方になり助けてくれました。今は私が子供たちに同じような想いでいます。

又私の座右の銘の一つとして〝一期一会〟があります。金沢区医師会会長、金沢区三師会会長、横浜市医師会副会長と着任した時はその責務の重さに負けそうになりました。その時に多くの先生と出会い、助けていただき成長させていただきました。その方々に対しての恩を決して忘れることなく、また私自身が助けになれるようにこれからも切磋琢磨していこうと思います。今は医師会の主となる役職からは離れ、子供たちも親離れしたので自分の時間が持てるようになりました。健康維持のためトレーニングをはじめ、また学生時代に始めたスキューバダイビングを再開しています。今年度は町内会長に着任し医師としてだけでなく金沢区住民としても災害等行政に協力していきたいと考えます。

12月についにおばあちゃんになります。いつまでも元気に頑張っているおばあちゃんの背中を私が母を見てきたように、子供たち孫に見せていきたいと思います。

動画配信案内　**経営研究会**

「院長必見！ ハラスメント対策のA to Z【本年10月1日から】必ず講じなければならない措置とは」



今年10月から、事業主にはハラスメント対策の義務が課されています。協会ホームページ「いい医療ドットコム」からご覧いただけます（下記QRコード）。

（2026年9月4日開催／講師：社会保険労務士法人HRビジネスマネジメント 横浜事務所　社会保険労務士　菅原 由紀氏、馬車道法律事務所　弁護士　小賀坂 徹氏）
https://www.hoken-i.co.jp/videos/members/a_to_z101202694hr.html

研究会案内

※研究会に会場参加の際は、マスク着用・手指の消毒等の感染症対策にご協力ください。また発熱症状等がある場合は参加をお控えください。　※必ず事前にお申込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大や天災等により、急遽開催形式を変更または中止させていただく場合がございます。その場合は当会HP「いい医療ドットコム」にて適宜お知らせします。予めご承知おき願います。

※協会行事においては、その模様を写真撮影し、記事とともに機関紙に掲載することがありますので予めご了承ください。

神奈川県保険医協会　検索

WEB参加の申込みは、協会HP「いい医療ドットコム」のイベントカレンダーからもできます。「神奈川県保険医協会」で検索を！

協会行事予定

11月10日～11月17日

11月10日（火）総務部会19時30分。
11月11日（水）学術部会19時30分。県央支部幹事会20時。
11月12日（木）第25回理事会19時30分。
11月13日（金）新聞部会19時30分。相模原支部幹事会20時。
11月14日（土）医療事務講習会14時30分。臨床懇話会18時。
11月15日（日）医科新規指定医講習会10時。
11月16日（月）新聞編集会議19時。政策部会19時30分。
11月17日（火）湘南支部幹事会・支部研究会19時。横須賀支部幹事会・支部研究会19時15分。

11月14日(土)午後6時～

臨床懇話会

日常診療で遭遇する機会の多い感染性腸炎。知っているようで迷うことも多いその診療について、今一度、一緒に整理してみませんか。先生方の参加をお待ちしております。

テーマ　「いまさら聞けない　感染性腸炎」
講　師　権太坂クリニック　院長　徳山　隆之氏
ところ　協会会議室・WEB併用
参加対象　会員（医療機関スタッフ・ご家族も可）
参加方法　①か②いずれか
①協会会議室：定員120名
②WEB参加：下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み
※日医生涯教育講座CC「54（便通異常〈下痢、便秘〉）」1単位申請中
【医籍番号の入力について（下記《重要》参照）】
お申込み　研究部

11月17日(火)午後7時30分～

湘南支部研究会

ところ　藤沢商工会館ミナパーク302会議室（現地のみ）
テーマ　「患者さんがAIで〈正解〉を持ってくる時代、医療者はどうしたら良いのか？―実務上のポイントや留意点／トラブル事例から見えてくること―」
講　師　さわ内科糖尿病クリニック　院長　沢　承氏
参加対象　医師・歯科医師
定　員　30名
※お電話またはFAXにてお申込みください。
お申込み　湘南支部

11月17日(火)午後7時30分～

横須賀支部研究会

ところ　横須賀市産業交流プラザ第2研修室・WEB併用
テーマ　「インターネット時代の医療機関防衛―クチコミ対応とAI時代の備え―」
講　師　服部啓法律事務所　弁護士　深澤　諭史氏
参加対象　会員（医療機関スタッフ・ご家族も可）
参加方法　①か②いずれか
①横須賀市産業交流プラザ：定員10名
②WEB参加：下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み
※現地参加を希望の場合、お電話またはFAXにてお申込みください。
お申込み　横須賀支部

11月18日(水)午後7時～　施設基準

歯援診・口管強の施設基準研修会
歯科特別研究会

本研修会は在宅療養支援歯科診療所（歯援診）と口腔管理体制強化加算（口管強）の施設基準対応研修会です。「高齢者の心身の特性（認知症に関する内容を含む）、口腔機能の管理、緊急時対応、歯科疾患の重症化予防に資する継続管理、小児の心身の特性」についての内容に加え、口管強の施設基準の選択式項目にあります「在宅医療または介護に関する研修」、「認知症対応力向上研修」にも対応しております。

ところ　協会会議室
講　師　鶴見大学　名誉教授　花田　信弘氏
参加対象　歯科会員（医療機関スタッフ・ご家族も可）
定　員　90名
※下記QRコードよりお申込みをお願いいたします。
※本研究会は「会場開催」です。誠に申し訳ございませんが、当日のWEBライブ配信および後日のアーカイブ配信ともにございません。あらかじめご了承ください。
※当日は研究会終了後、「講演を最初から最後までご受講された歯科医師の方」（※会員本人に限ります。会員本人ではない勤務医の先生等には発行できないため、あらかじめご容赦ください）に修了証をお渡しします。なお、講演の途中参加・途中退出の場合、修了証は発行いたしかねます。あらかじめご了承ください。
お申込み　歯科研究部

11月19日(木)午後7時30分～

第649回月例研究会

Vaccine hesitancyは、接種を迷っている人も含む。接種を推進する方策として「接種を希望する人が円滑に接種できる環境を整えること」と、「接種へのモチベーションを高める働きかけ」を考える必要があり、行動科学的視点も交えた接種行動を捉え直す。医療従事者の「一押し」は接種の推進において重要な役割を果たす。

ところ　協会会議室・WEB併用
テーマ　「なぜ人はワクチンを打つのか、打たないのか―Vaccine hesitancyの現状と医療現場で考える対策―」
講　師　東京医科大学病院　公衆衛生学分野　町田　征己氏
参加方法　①か②いずれか
①協会会議室：定員120名
②WEB参加：下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み
※日医生涯教育講座CC「8（感染対策）」1・5単位申請中
【医籍番号の入力について（下記《重要》参照）】
共　催　アステラス製薬㈱／デンカ㈱／神奈川県保険医協会
お申込み　研究部

11月27日(金)午後7時～　施設基準

歯科医療安全対策講習会

初診料（歯初診）、歯科外来診療医療安全対策加算（外安全1）、歯科外来診療感染対策加算（外感染1・2）の施設基準研修会

ところ　協会会議室
テーマ　「偶発症に対する緊急時の対応、医療事故、院内感染防止対策（抗菌薬の適正使用を含む）、感染経路別予防策及び新型インフルエンザ等感染症等に対する対策・発生動向等」
講　師　東京医科歯科大学（現 東京科学大学）　名誉教授　深山　治久氏
参加対象　歯科会員（医療機関スタッフ・ご家族も可）
定　員　90名
※下記QRコードよりお申込みをお願いいたします。
※本研究会は「会場開催」です。誠に申し訳ございませんが、当日のWEBライブ配信および後日のアーカイブ配信ともにございません。あらかじめご了承ください。
※当日は研究会終了後、「講演を最初から最後までご受講された歯科医師の方」（※会員本人に限ります。会員本人ではない勤務医の先生等には発行できないため、あらかじめご容赦ください）に修了証をお渡しします。なお、講演の途中参加・途中退出の場合、修了証は発行いたしかねます。あらかじめご了承ください。
お申込み　歯科研究部

研究会参加費について

特に記載のない研究会、講習会の参加費は無料です。参加費をいただく研究会は、電話でお申込みの上、郵便口座に参加費をお振込みください。尚、通信欄に①研究会名、②医療機関のご連絡先を必ずご記入ください。

郵便口座名　神奈川県保険医協会　口座番号　00260-2-2220

◆協会へお越しの皆様へ（お願い）

協会に駐車場はございません。ご自身で駐車場を確保いただくか、公共交通機関をご利用ください。

※《重要》神奈川県医師会の要請により、日医生涯教育講座（CC）の単位取得を希望する場合は、①性別、②医籍登録番号、③（医師会員の場合は）所属郡市医師会名の登録が必須となります（25年4月より変更）。未入力・入力間違い等不備がある場合、単位を取得いただけませんのでご注意ください（恐れ入りますが、当会は一切の責任を負いかねます）。なお、会場参加の場合は、FAX申込時に所定の欄にご記載ください。また、WEB参加で単位取得を希望する場合は参加時間が単位取得に影響しますので、最初から最後までご参加ください。

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

会場参加のお申込み・お問合せは、協会事務局（TEL：045-313-2111）までご連絡ください